

ヘッドライン

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 第10期理事会役員体制 | 5. 韓国東北アジア経済学会の開催と会員参加 |
| 2. 北東アジア学会理事会緊急声明 | 6. 第10期第1回理事会議事録(2020年9月26日) |
| 3. 2021年第27回大会開催と自由論題募集 | 7. 第10期第1回常任理事会議事録(2020年12月26日) |
| 4. 学会優秀論文賞・学生奨励賞募集 | 8. 第10期第2回常任理事会議事録(2021年5月15日) |

1. 第10期理事会役員体制

2020年6月に行われた理事選挙の結果等に基づき、第10期理事会の役員体制は以下のとおり（敬称略）。

会長	三村光弘
副会長	金早雪
副会長（雑誌編集委員長）	堀内賢志
事務局長	穆堯芊
事務局次長	川口智彦
会計	海老原毅
常任理事	新井洋史、岡本勝規、櫛谷圭司、朱永浩、高屋和子、唱新、堀江典生、道上真有、若月章
理事	五十嵐誠一、尹清洙、岡洋樹、加藤美保子、権寧俊、菅沼桂子、詹秀娟、高田喜博、高橋和、張忠任、鄭雅英、辻久子、轟博志、

中戸祐夫、中山賢司、朴一、蓮池薫、林亮、日臺健雄、裴光雄、ペロフ・アンドレイ、松村史紀、宮島美花、森川裕二、柳学洙、李鋼哲
会計監査：齊藤久美子、林夏生
編集委員会：堀内賢志（編集委員長）、金早雪（副編集委員長）、櫛谷圭司、朱永浩、裴光雄、松村史紀、宮島美花
名誉会員：山村勝郎、藤田暁男、多賀秀敏、林堅太郎、坂田幹男、小川雄平、佐渡友哲、大西広、松野周治
事務局：〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471番地
新潟県立大学 国際地域学部 穆研究室気付
北東アジア学会事務局 jimukyoku@ancars.net

2. 北東アジア学会理事会緊急声明

日本学術会議第25期新規会員任命に関する緊急声明

内閣総理大臣は、日本学術会議が第25期新規会員候補として推薦した候補者105名のうち、6名の任命を拒否しました。このことは、日本学術会議法に明記された設立趣旨とその使命、任命の方法を考えれば、北東アジア学会として、看過できません。

日本学術会議会員の推薦は、学術的観点による選考

を経てなされるものであり、同会議の独立性を守り、同会議を支える様々な学術研究団体の自由闊達な学術的研究を維持するため、わたしたちは、内閣総理大臣が任命を拒否した理由を開示し、その合理性を説明するように、要望します。

5日間の議論のうへ、賛成多数の議決を得て

2020年10月13日

北東アジア学会理事会

3. 2021年第27回大会開催と自由論題募集

2021年5月20日
北東アジア学会第26回大会実行委員長 若月章

北東アジア学会会員のみなさま

北東アジア学会第27回学術研究大会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げ

ます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北東アジア学会第27回学術研究大会を下記の要領にて開催することが決定いたしましたので、ご連絡申し上げます。

自由論題報告、企画分科会の提案の申込もあわせて

受け付けます。募集要項を参照のうえ、ふるってお申込みください。

敬具

記

開催日 2021年9月25日(土)、26日(日)
会場 NICOプラザ会議室(新潟県新潟市中央区万代島5-1万代島ビル11F)

<https://www.nico.or.jp/sien/sisetsu/34150/>

新型コロナウイルスのためシンポジウムおよび一部のプログラムはオンライン開催で行います。具体的な開催形態と時間割については、後日発表します。
テーマ 7月以降に発表します。

大会参加・申込スケジュール

(1) 報告

添付の「報告申込書」に必要事項をご記入のうえ、ふるってお申込みください。

2021年6月30日(水)

自由論題の報告、企画分科会の提案の申込締切
氏名・所属・論題・希望コメンテーター(2名以内)、

報告・企画要旨(800字以内)

宛先: conference2021@anears.net

7月17日(土)の理事会を経て、申込確認結果を連絡する予定です。

2021年8月31日(火)

大会実行委員会への予稿集原稿および報告論文(フルペーパー) 締切

座長、討論者への報告論文(フルペーパー) 送付締切

(2) 参加申し込み

参加申し込みの方法と期日については、後日発表いたします。

以上

北東アジア学会第27回学術研究大会実行委員会

メール conference2021@anears.net

学会ホームページ <https://www.anears.net>

*自由論題報告・企画分科会募集案内と「報告申込書」を別添にてお送りしております。詳しくはそちらをご覧ください。

4. 2020/2021年度北東アジア学会優秀論文賞・学生奨励賞推薦募集

●「北東アジア学会優秀論文賞」は、若手研究者育成を目的として、学会設立10周年を記念して設けられました。今(2020/21)年度も下記の日程等で、推薦を受け付けます。

被推薦対象論文:『北東アジア地域研究』第27号(2021年5月末発行予定)をはじめとする2020年6月1日から2021年5月31日までに公刊された査読付単著論文。

被推薦対象者:当該論文発表時に40歳程度まで(大学院在学中の者はこの年齢規定の限りではない)の学会員(会費を完納していること)。

推薦方法:2021年6月30日までに推薦状(指定様式)とともに、当該論文(PDFファイルで1部)を添えてメールにて事務局に提出。

表彰:審査を経て、表彰。

副賞:韓国東北亜経済学会(2022年2月予定)での研究報告(航空運賃等の費用5万円を上限として学会が負担する)。

優秀論文賞選考規定・推薦状様式:

学会ホームページ <https://anears.net/form.html>「各種申請様式」の「7. 北東アジア学会優秀論文賞推薦状」の欄をご参照ください。

●本学会では、各年度に提出された卒業論文等について、特に優秀なものを「北東アジア学会学生奨励賞」として表彰しています。今年度も、2021年6月30日締切で推薦を募集します。推薦をされたい方は、事務局に「北東アジア学会学生奨励賞推薦状」をご請求の上、推薦する論文1部(PDF)を添付して、メールにて事務局にお送りください。

詳細・問い合わせ先:学会事務局

jimukyoku@anears.net

北東アジア学会事務局 宛

*新型コロナウイルス感染拡大に伴う郵便事情の悪化や大学・研究機関施設の閉鎖が続くことが予想されるため、今回の推薦募集はメールのみにての受付とさせていただきます。

5. 韓国東北アジア経済学会の開催と会員参加

韓国北東アジア経済学会は2021年2月に釜山で開催された(オンライン開催同時並行)。当学会では、三

村会長によるビデオ挨拶を行ったほか、3名の会員が参加し(川口智彦会員、李鋼哲会員、穆堯芋会員)、第

4 分科会においてオンラインの研究報告を行った。韓国側から感謝の意が伝えられ、本学会の 2021 年度学

術研究大会に韓国の研究者の参加・報告が期待される。
(川口智彦事務局次長)

6. 第 10 期第 1 回理事会議事録(2020 年 9 月 26 日)

日時：2020 年 9 月 26 日 (土) 14:00~16:00

会場：Zoom 開催

出席者：三村、松野、柳、詹、穆、唱、張、加藤、若月、鄭、海老原、道上、櫛谷、川口、尹、堀内、朱、轟、高橋、新井、五十嵐、岡本、松村、金、高田、李、中山、(日臺)、高屋

0 報告事項

前回(第 9 期第 7 回)理事会の議事録確認 承認

I. 協議事項

(1) 人事

役員互選 承認、もう 1 名の会計監事については引き続き人選を進め、早期に決定する。理事紹介。

入会承認 第 9 期第 7 回理事会にて承認。

(2) 第 10 期の方針およびミッションについて

三村会長より説明、承認。李理事より地域研究会を活性化するためにコーディネーターを置いてはどうかとの意見があった。北陸地域については李理事が協力のお申し出、加えて中部地域や九州などでも地域研究会開催をしていきたいこと、今後各理事の皆さんに協力をお願いしたい旨会長より説明。

(3) 2020/21 年度事業計画および予算

三村会長、岡本前会計担当常任理事より報告、承認。

①第 26 回大会準備状況 三村会長(実行委員)より報告、承認。

②北東アジア学会優秀論文賞、学生推奨奨励賞の募集 例年通り募集予定。承認。

③国際交流

韓国東北亜経済学会：2020 年 8 月 22 日に大会が開催されており、次回開催の予定については未定(今後連絡確認予定)。今後の新型コロナ感染状況を見ながら参加(オンラインを含め)を検討。

中国との交流：現状の感染状況では渡航が難しい。今後連絡を取りながら検討(オンラインの参加を含め)。唱常任理事より、前回理事会で中国の他地域との交流拡大も検討してはどうかとの提案があったが

(例：積極的に大会などに参加いただいている会員がいる中山大學など)、これから具体的交流の在り方など議論が必要との意見があった。三村会長よりコロナ

禍や政治状況で難しい面があるが、実質的な交流ができる部分で実施ができるよう今後検討相談していきたいことを説明。李理事よりオンラインなど新たな交流形態が生まれているので、発想を転換しながら、より多様な地域との交流の枠組み・基盤の構築することができるのではないかと意見があった。三村会長よりオンライン化の流れも捉えながら国際交流を進めていきたい旨説明。以上国際交流について承認。

④「北東アジア地域研究」編集委員会の構成及び第 27 号について：

編集委員会は、堀内賢志常任理事を委員長とし、2020 年 9 月をもって任期満了となる委員のうち、海老原毅委員の後任に朱永浩会員をあて、他の委員は再任とする(任期は 2023 年 9 月まで)。

第 27 号(2021 年 5 月刊行)への投稿を募集する(期限は 2020 年 11 月末)(現在、旧委員会で 2 本の投稿を受理し新委員会に移管)。

堀内編集委員長が校務により席を外していたため、三村会長より説明、承認。

(4) 総会議案について：斎藤会計監事より学会論文賞と学生奨励賞の経費の違いについて指摘があり、確認の上修正。入会金収入の記載も削除する。以上の修正の上予算を総会資料として審議する。櫛谷常任理事より、来年度大会の開催に向けて、開催時期の検討の提案があった。今後日程都合の意見や状況集約を行っていく(事務局より ML 等で行う)。以上の意見交換、確認の上総会議案について承認。

(5) その他 三村会長より松野前会長を名誉会員とする提案があり、これを承認。

(6) 今後の日程

2020 年 12 月 26 日 地域研究会とあわせて開催を調整(常任理事会は新潟)。Zoom 併用を検討。第 10 期第 1 回常任理事会：第 27 回大会概要、報告募集など

2021 年 4 月 日(調整中) 第 10 期第 2 回常任理事会：大会プログラム ver.1

2021 年 7 月 日(調整中) 第 10 期第 2 回理事会：学会論文賞等審査体制

2021 年 9 月 25 日(第 27 回大会 1 日目午前) 第 10

7. 第10期第1回常任理事会議事録(2020年12月26日)

日時：2020年12月26日(土) 13:30~17:00
場所：環日本海経済研究所(新潟市中央区万代島5番1号万代島ビル13階)(Zoom開催も並行で行う)

出席者：

リアル参加：新井、大西、川口、櫛谷、朱、松野、三村、穆

Zoom参加：海老原、岡本、金、高屋、堀内

0 メール常任理事会および理事会の議事録確認
内閣閣総理大臣による日本学術会議会員の任命拒否問題に関連し、北東アジア学会理事会緊急声明及びJCASA緊急声明への参加に関連する常任理事会・理事会のメール審議記録を確認した。

I 報告事項

(1) 各種報告

①事務局(穆)：

日本学術会議の学会名鑑に、本学会の会員状況等の最新情報を更新し、登録した。(会員状況：一般会員158人、優待会員3人、学生会員33人、海外会員24人、名誉会員9人、賛助会員2団体)

②編集委員会(堀内)：『北東アジア地域研究』編集委員と第27号の編集状況

a. 編集委員会構成(2020年10月より)

委員長 堀内 賢志(常任理事・静岡県立大学)

副委員長 金 早雪(常任理事・信州大学)

委員 櫛谷 圭司(常任理事・新潟県立大学)

委員 朱 永浩(常任理事・福島大学)

委員 裴 光雄(理事・大阪教育大学)

委員 松村 史紀(理事・宇都宮大学)

委員 宮島 美花(理事・香川大学)

b. 第27号の編集状況

・投稿状況：論文5本(査読中)、研究ノート2本(編集委員会で可否検討中)

・書評：現在のところ下記4冊の書評を予定

『現代地政学事典』編集委員会編『現代地政学事典』(丸善出版、2020年1月)

多賀秀敏・五十嵐誠一編『東アジアの重層的サブリージョンと新たな地域アーキテクチャ』(勁草書房、2020年2月)

多賀秀敏編『平和学から世界を見る』(2020年4月、成文堂)

左近幸村『海のロシア史—ユーラシア帝国の海運と世界経済』(2020年12月、名古屋大学出版会)

・第26回学術研究大会：概要の原稿を依頼中。プログラムとともに掲載予定

③会計(岡本、海老原、三村)：

a. 学会の当座口座、普通口座の現状を報告

b. Zoomアカウントの使用料は年次学術大会の経費に計上する。

④学生奨励賞(松野、岡本、海老原)：

・受賞者：飯野結貴さん

・受賞論文：中国における外国人就労許可制度の現状と日本企業の対応—富山県内企業を対象に—

・授賞式：2020年11月18日、富山市内で開催

⑤JCASA年度総会参加報告(三村)：

・JCASAの年度総会は2020年12月12日にオンラインで開催され、三村会長が参加。

・日本学術会議会員の任命拒否問題に関連するJCASA緊急声明の説明があった。

・コロナの関係で今年度の会費は徴収無し。

・コロナの影響で年次研究大会の会場確保が困難になっているが、東京・八王子市の「大学セミナーハウス」が1つの候補地として提案された。

(2) 地域研究会(三村、大西)：

①北東アジア学会新潟地域研究会

日時：2020年12月26日(土) 10時~12時

場所：環日本海経済研究所(新潟市中央区万代島5-1万代島ビル13階)

発表1

発表者 齋藤光位(福島大学大学院)「金正日時代と金正恩時代の経済管理体制」

討論者 蓮池薫(新潟産業大学)

発表2

発表者 張文婷(新潟大学)「中小企業の海外展開」

討論者 朱永浩(福島大学)

②北東アジア学会関東地域研究会

日時 2020年12月27日(日) 13:00~17:30

場所 オンライン(ZOOM)

司会 川口智彦(日本大学准教授)

報告者・テーマ・討論者

呉迪(慶應義塾大学博士院生)「近代日本の植民地法体系における満州国組織法体制」

討論：松野周治(立命館大学名誉教授)

晏江林(創価大学博士院生)「中国平和研究の諸問題」
討論:佐渡友哲(日本大学大学院講師)
杜世鑫(慶應義塾大学博士院生)「中国の「一帯一路」
構想と中東欧—ハンガリー・セルビア鉄道における
中国の国内要因の視点から」
討論:三村光弘(環日本海経済研究所主任研究員)
林亮(創価大学教授)「イージス・アショア配備中止と
日中関係」
討論:大西 広(慶應義塾大学教授)
大西広(慶應義塾大学教授)「民族排外主義」として
の香港「民主派」
討論:佐渡友哲(日本大学大学院講師)

II 協議事項

(1) 入会、退会等 →承認

入会:張文婷(新潟大学)

退会:岩佐興城会員、堀江薫会員

会員種別変更:李晨会員(学生会員から一般会員
へ)

(2) 臨時会員総会(メール総会)の開催 →承認

議案:①会計担当の変更に伴う会則変更、

②第10期理事会発足時に懸案であった会計

監事の2人目候補の決定(林夏生会員)

(3) 次回年次大会の開催 →承認

- ・開催期日:2021年9月25日(土)、26日(日)
- ・開催場所:新潟市内
- ・大会の開催方法やテーマについて活発な意見が出されたが、引き続き検討。

(4) 今後の常任理事会、理事会の開催方法 →承認 コロナの情勢を見てハイブリッドで行う。

(5) その他 →承認

- ①次回理事会:2021年5月15日に新潟で開催
- ②査読者選定のため、最新の会員台帳を会計担当より編集委員会に送付する(編集委員長の要請に基づく)。
- ③2021年3月に李鋼哲会員を中心に東北亜未来構想研究所(INAF)の設立総会及び国際シンポジウムが開催される。当学会では国際シンポジウムを共催し、北陸地域研究会も兼ねて開催することとして、会場費の一部負担と院生会員の発表旅費補助を行う。

8. 第10期第2回常任理事会議事録(2021年5月15日)

日時:2021年5月15日(土)14:00~17:00
場所:環日本海経済研究所(新潟市中央区万代島5番
1号万代島ビル13階)(Zoom開催も並行で行う)
出席者:
リアル参加:新井、楢谷、朱、三村、若月、穆
Zoom参加:大西、川口、海老原、岡本、金、高屋、堀
内、堀江、松野

0 前回の常任理事会の議事録確認

前回(第10期第1回)の常任理事会の議事録を確認した。

I 報告事項

各種報告

(1) 事務局(穆):

①会則の改定と会計監事候補の決定:

前回の常任理事会の決定に従い、会計担当の変更(岡本勝規会員→海老原毅会員)に伴う会則変更及び会計監事候補(林夏生会員)の決定について臨時会員総会(メール総会)を行い、承認された。

②第18回日本学術振興会賞電子申請:

第18回日本学術振興会賞の応募に関連し、直近の北東アジア学会優秀論文賞受賞者(柳学洙会員)を推薦することを常任理事会のメール審議で決定され、推薦して応募した。

③吉林大学東北アジア学院設立:

吉林大学東北アジア学院(学部)が設立され、本会として会長名で祝賀レターを送付した。

④「つうしん」第55号の発行:

本常任理事会の決定を受けて速やかに発行する。

(2) 編集委員会(堀内):

①『北東アジア地域研究』第27号の編集状況(2021年5月末刊行予定)

論文2本、研究ノート3本、書評3本と第26回研究大会概要報告で構成

②「投稿規定及び執筆要領」および「投稿票」の改訂

a. 投稿論文に対して査読者が修正・再審査を要求した場合、投稿者は修正原稿とともに、査読者の審査意

見に対応した説明書を作成して提出することとする
(投稿規定 7.3 修正)。

b. 投稿者の母語以外の言語で執筆した原稿については、投稿前にネイティブチェックを受けることとする
(執筆要領 3.4)。

c. 学生会員が投稿する場合は、投稿前に指導教員等による原稿チェックを受けることとする(執筆要領 3.4)。

(3) 会計(岡本、海老原) :

①学会の当座口座、普通口座の現状

普通口座に約 700 万円、当座口座に約 170 万円、定額貯金に 220 万円、(総資産約 1090 万円)

②会計引き継ぎ状況

会則の改定を受け、口座代表者の移行手続きを普通口座、当座口座共に 4 月 19 日に行った。普通口座は移行完了、当座口座は郵便局の手続きを待っている状況。

研究集会について

(1) 韓国北東アジア経済学会の開催と会員参加(川口) :

韓国北東アジア経済学会は 2021 年 2 月に釜山で開催され(オンライン開催同時並行)、当会は三村会長によるビデオ挨拶を行ったほか、3 名の会員がオンラインで参加し(川口智彦会員、李鋼哲会員、穆堯芋会員)、第 4 分科会で研究報告した。本学会の 2021 年度学術大会に韓国の研究者の参加・報告が期待される。

(2) 東北亜未来構想研究所(INAF)国際シンポジウムと北陸地域研究会(三村)

東北亜未来構想研究所(INAF)の設立総会及び国際シンポジウムは李鋼哲会員を中心に 2021 年 3 月 27 日に金沢で開催された。当学会では国際シンポジウムを共催し、北陸地域研究会も兼ねて開催して多くの会員の参加・報告を行った。支出として会場費の半額を負担したほか、院生会員(杜世鑫会員)の発表旅費の補助を行った。

プログラム :

時間 : 2021 年 3 月 27 日 13 : 00 ~ 18 : 00

場所 : 石川県青少年総合研修センター研修室 1

主催 : 東北亜未来構想研究所 (INAF)

共催 : 北東アジア学会 (北陸地域研究会)

司会 : 李鋼哲・INAF 所長

開会挨拶 : 平川均・INAF 理事長、三村光弘・北東アジア学会会長・INAF 理事

a. 基調講演 :

司会 : 佐渡友哲・INAF 理事

講演 : 平川均・INAF 理事長「構造転換する世界経済と新段階のアジア地域統合」

羽場久美子・青山学院大学国際関係学部教授・INAF 理事「21 世紀、米・中・EU、どこが新国際秩序をリードするか?—ヨーロッパの歴史的・世界的意義—危機の時代のレジリエンス(回復力)と規範力—」

b. 若手セッション報告

第 1 報告 : 黄蓉・北陸大学学生「テーマ : 新中国成立から国交正常化までの日中両国の民間貿易に関する研究(1949-72)」

討論 : 朱永浩・福島大学経済学部教授・INAF 理事

第 2 報告 : 松島新・北陸大学学生「チェンマイ・イニシアティブ (CMIM) がアジア経済の安定に果たす役割」

討論 : 川島哲・金沢星稜大学経済学部教授

第 3 報告 : 杜世鑫・青山学院大学グローバル国際関係研究所特別研究員「北東アジア地域協力におけるヨーロッパの関与と役割」

討論 : 三村光弘・ERINA 主任研究員・INAF 理事

c. セッション報告

第 1 報告 : 朱永浩・INAF 理事「RCEP が東北アジア地域経済協力に及ぼす影響—中国の視点を中心に—」

第 2 報告 : エンクバヤル・ERINA 主任研究員・INAF 理事「Mongolia's Economic Relations with Countries in Northeast Asia」

第 3 報告 : 朴在勲・INAF 理事「朝鮮から見た東北アジア地域協力」

第 4 報告 : アンドレイ・ベロフ理事「ロシアと北東アジア諸国との経済交流」

第 5 報告 : 姜龍範・INAF 理事「中国から見た東北アジア地域協力」

d. 総合討論

三村光弘理事、川口智彦・日本大学准教授、李愛俐娥理事、郭炳憲理事、朴賢沢理事、その他

II 審議事項

(1) 入会、退会 →承認

入会 : なし

退会 : 柑本英雄会員、判澤純太会員、臼井陽一郎会員

(2) 第 12 回日本学術振興会有志賞推薦 →承認

第 12 回日本学術振興会有志賞の応募について、事務局から会員宛に推薦依頼を行い、1 名の応募があった。審議の結果、北東アジア学会として同賞の応募に推薦する。

(3) 北東アジア学会優秀論文賞・学生奨励賞の募集

→承認

『北東アジア地域研究』第 27 号刊行後、例年通り北東アジア学会優秀論文賞・学生奨励賞の募集を行う。

(4) 第 27 回学術研究大会について →承認

①開催期日と場所：

日時：2021 年 9 月 25 日（土）～26 日（日）

場所：NICO プラザ会議室（新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビル 11F）

<https://www.nico.or.jp/sien/sisetsu/34150/>

②開催形態：

- a. シンポジウムに韓国研究者の参加を依頼し、中国やロシアの参加も検討する。
- b. シンポジウムは一般市民に公開し、ウェブセミナーで行う。
- c. 分科会は基本対面式だが、ハイブリッド会場も準備

する。

d. 分科会も韓国の参加者を依頼する。

f. 懇親会を行わない。

③大会のテーマ：

米中対立時代の北東アジアを中心に検討する。

松野先生から「対立」より、「競争」を用いたほうが相応しいのではとの提案があり、川口先生から「競合」の提案もあった。引き続き検討する。

④募集日程：

- a. 早めに会員に案内し、発表を募集する（20 分程度）。
- b. 6 月 30 日（水）に募集締め切り、次の理事会（7 月 17 日開催）でプログラムを決定。
- c. その他の詳細な日程設定は実行委員会で行う。

(5) その他 →承認

次回理事会の予定：7 月 17 日（土）、新潟開催（ハイブリッド並行）、午後の予定。

発行：北東アジア学会事務局 〒950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地 新潟県立大学国際地域学部
穆堯芋研究室気付（2020 年 9 月 26 日～2023 年 9 月予定）
ウェブサイト <http://anears.net/> 会員専用ページ：アカウント；anears パスワード；TOra1001
電子メール jimukyoku@anears.net